

■台風等による注意報・警報等発令時の対応

台風等による強風や洪水によって帰宅困難な状況に陥ることが想定されます。台風等による注意報・警報等が発令されている場合の本学の対応は以下のとおりです。なお、表の「注意報」「警報」は、静岡県遠州南または遠州北において発令されたものを示しています。

〔登校前の本学の対応〕

気象庁が発表		本学の対応	
注意報	大雨 洪水 強風	原則、平常どおり授業を実施します。 自宅周辺の安全を確認しながら、登校してください。	
	大雨 洪水		
警報	暴風	静岡県遠州南または遠州北において、暴風警報が午前6時の時点で発令されている場合は、1・2限の授業は休講となります。また、午前10時までに解除されていなければ、終日休講となります。	※自宅や自分の通学路を含む地区に警報が出ている場合は、安全に充分配慮し、自宅待機とするなどの安全策を講じてください。尚、通学が可能になった後は、「公欠届」を参照し、必要な手続きをとってください。
		静岡県遠州南または遠州北において、特別警報が午前6時の時点で発令されている場合は、授業は終日休講となります。	※自宅や自分の通学路を含む地域に「特別警報」が発令されている場合は、安全に充分配慮し、自宅待機や近くの安全な場所への避難等の安全策を講じてください。尚、通学が可能になった後は、「公欠届」を参照し、必要な手続きをとってください。
市長または町長が発令		本学の対応	
避難指示	緊急安全確保	キャンパスが位置する地域において避難指示が午前6時の時点で発令されている場合は、1・2限の授業は休講となります。また午前10時までに解除されていなければ、終日休講となります。	※自宅や自分の通学路を含む地域に「緊急安全確保」あるいは「避難指示」が発令されている場合は、安全に充分配慮し、自宅待機や近くの安全な場所への避難等の安全策を講じてください。尚、通学が可能になった後は、「公欠届」を参照し、必要な手続きをとってください。
		キャンパスが位置する地域において緊急安全確保が午前6時の時点で発令されている場合は、授業は終日休講となります。	

集中講義については、講師及び受講学生の登校可能状況を勘案し、その都度対応します。

〔登校後の本学の対応〕

気象予警報		本学の対応	
注意報	大雨 洪水 強風	原則、平常どおり授業を実施します。	
	大雨 洪水		
警報	暴風	警報が発令され、かつ台風の進路、その他の気象情報などから、学生の帰宅等に支障が生じる可能性が高いと判断された場合、授業を休講とする場合があります。帰宅の指示があった場合は、JR、路線バス等の運行状況を確認し、速やかに帰宅してください。	※休講を決定した場合は、学内放送及びポータルサイトにより、休講情報を全学生に伝達します。 ※安全に帰宅することが困難と判断し、学内での待機を希望する学生は、状況が回復するまでの間、学内の特定の施設（教室等）を開放しますので申し出てください。
		警報が発令された場合は、その後の授業を休講とする場合があります。帰宅の指示があったら、JR、路線バス等の運行状況を確認し、速やかに帰宅してください。	
市長または町長が発令		本学の対応	
避難指示	緊急安全確保	キャンパスが位置する地域において避難指示または緊急安全確保が発令された場合は、その後の授業を休講とする場合があります。帰宅の指示があったら、JR、路線バス等の運行状況を確認し、速やかに帰宅してください。	※休講を決定した場合は、学内放送及びポータルサイトにより、休講情報を全学生に伝達します。 ※安全に帰宅することが困難と判断し、学内での待機を希望する学生は、状況が回復するまでの間、学内の特定の施設（教室等）を開放しますので申し出てください。

■Jアラートへの対応

大規模な自然災害や武力攻撃、存立危機事態が発生した場合は、Jアラート（全国瞬時警報システム）を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により、緊急情報が伝達されます。Jアラートが作動した場合には、落ち着いて直ちに以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

近くの建物や地下に避難する。近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

【屋内にいる場合】

できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

テレビ、ラジオ、インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政からの指示があれば、それに従って落ち着いて行動してください。